

## 事務事業評価表

平成14年度	主要事業計画対象の有無	無	電話	042-769-8354
担当部課名	保健福祉部	高齢者福祉課	生きがい係	
事務事業名	ひとり暮らし高齢者交流のつどい		事業コード	11220

## 1 総合計画における位置づけ

政策名	第1章	安心して生活できる福祉社会をつくります	事業開始年度
基本施策名	第2節	いきいきとした高齢社会の創造	~63年度
施策名	第2施策	高齢者の社会参加と生きがいづくり	

## 2 実施根拠及び関連法令等

ひとり暮らし高齢者事業実施要領
-----------------

## 3 事業概要

(1) 事業の目的		(2) 対象(誰、何)	
ひとり暮らしの高齢者の孤立感を解消し、演芸等を通し相互の交流と親睦を深める。		65歳以上市内高齢者	
		対象数	3,510人
(3) 平成13年度事業の内容		(4) 総合計画・実施計画における概要	
対象	65歳以上のひとり暮らしの市民	(5) 個別計画の概要	
会場	相模原市民会館		
参加者数	726人		
対象者数	3,510人		
内容	演芸の鑑賞を通し高齢者の交流をはかる。		
周知方法	個別に招待状を送付	計画名	高齢者保健福祉計画
その他	バスで地域ごとに送迎した。	計画年次	平成12年度～平成16年度
		高齢者が気軽に交流できる場の提供	

## 4 評価指標

指標名	参加者率		
指標式	参加者数 / 対象者数		
指標設定の意図	事業への参加者数で効果を計る。		

## 5 目標と実績

〔金額単位：千円〕

	平成11年度	平成12年度	平成13年度(評価対象年度)		平成14年度	
	実績	実績	実績	目標	目標	
指標	21.2	20.6	a 20.7	b 25.0	25.6	
指標			c	d		
指標			e	f		
事業費	決算(予算)額	2,186	2,304	2,432	2,432	2,749
	人員・時間数	( )	( 995 時間)	( 995 時間)	( 995 時間)	( 995.0 時間)
	人件費	608	608	608	608	608
	その他経費					
	合計	2,794	2,912	3,040	3,040	3,357
特定財源	0	0	0	0	0	

6 個別評価

(1)達成度…目標をどれだけ達成したか			
評価 B ▼	A : 達成している ( 100%)	= 、 、 の平均値 = 82.8%	
	B : 一部達成していない(100%> 80%)		
	C : 達成していない (80%> )		
$\frac{a}{b}$	$\frac{20.7}{25.0} \times 100 = 82.8\%$	$\frac{c}{d}$	$\times 100 =$
$\frac{e}{f}$	$\times 100 =$		
理由 :	対象者のうち会場まで出向いて参加が可能な人数が少ない状況があり、目標値を高くない。過去の実績から比較すると参加者は増加している。		

(2)必要性…時代変化に適応した事業内容か			
評価 A ▼	A : 適応している	理由 :	高齢化が加速しひとり暮らしの高齢者も増加傾向であり、高齢者同士の交流を図ることは難しくなっている。参加しない人、出来ない人の対応について今後検討の必要
	B : 一部適応していない		
	C : 適応していない		

(3)経済性・効率性…費用対効果は妥当か			
評価 B ▼	A : 妥当である	理由 :	対象者が一部敬老会と重複する。送迎用のバスを用意しているが参加者数が少ない。また送迎にかかる事務量が多く非効率である。
	B : 一部妥当でない		
	C : 妥当でない		

(4)事業の代替性…県、民間との役割分担のあり方から見て、市が実施していくことが適当か			
評価 B ▼	A : 代替の可能性ない	理由 :	ひとり暮らしの高齢者の社会参加のひとつの機会ではあるが、他の事業などに参加しやすくなることで孤立感の解消や交流は図られる。県、民間、市を問わず参加しやすい情報を提供することが必要。
	B : 代替の可能性低い		
	C : 代替の可能性高い		

(5)市民満足度…対象市民の満足は得られているか			
評価 B ▼	A : 満足できる	理由 :	対象者数に比べ参加率が2割と低い。参加者にとっては満足感がある。
	B : 一部満足できない		
	C : 満足できない		

(6)有効性…当該事業は上位の施策を実現する上で有効か			
評価 B ▼	A : 有効である	理由 :	ひとり暮らしの高齢者の社会参加のひとつの機会であり、参加した人には演芸等を通して親睦が図られ有効である。
	B : 一部有効である		
	C : 有効でない		

<p>評価バランスチャート</p>	成果向上の余地	
	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	<b>説明 :</b> ひとり暮らしの高齢者の交流や社会参加は高齢者同士のみでなく他世代の地域の人々との交流をはかり日常の交流、親睦も図る方法を検討する。
	コスト改善余地	
	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	<b>説明 :</b> 送迎バスの廃止

7 総合評価

評価	A ▼	他自治体の類似事業との比較	他市の類似事業はない。横須賀市ではひとり暮らしの高齢者の区切りではなく、閉じこもり予防、自立支援等の視点から、各地域での事業全般への参加呼びかけを機会あることにしている。
今後の進め方		説明	年に1回のこの事業の開催だけでなく、市や民間の実施する各種の高齢者が参加出来る事業の情報や地域での呼びかけをすること等で、高齢者間だけでなく他世代との日常の交流を図り、孤立感の解消、閉じこもり予防策として今後さらに取り組む必要がある。
<input checked="" type="checkbox"/>	継続		
<input type="checkbox"/>	見直し		
<input type="checkbox"/>	廃止		
<input type="checkbox"/>	完了		

8 二次評価における変更点

--